



子どもの生活・意識アンケート

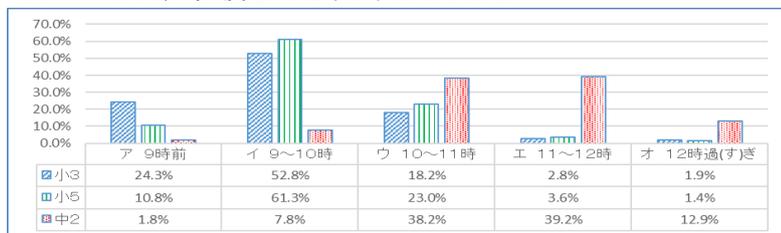
ご協力ありがとうございました。

町立教育センターでは、子ども生活・意識に関するアンケートを実施いたしました。各学校のご協力をいただきながら、センター研究員を中心に集計を行いました。結果の概略をお伝えいたします。

- 1 実施目的 子ども達の実態をつかむこと、生活や意識の一端を知ることにより、子ども達への支援・指導の方向性をさぐる資料とする。
- 2 実施対象 富士河口湖町内全小学校の3, 5年生・中学2年生の皆さん
(回答数) 小学校3年生 214名, 小学校5年生 222名, 中学2年生 217名 計653名
- 3 実施時期 2019(R1)年 6, 7月
- 4 結果 (考察の一部は、H28年の結果と比較)

アンケートの詳しい結果や考察は後日配布いたします。また、町HPにも掲載いたします。(11月上旬)

問1 平日、夜寝るのは何時頃ですか。

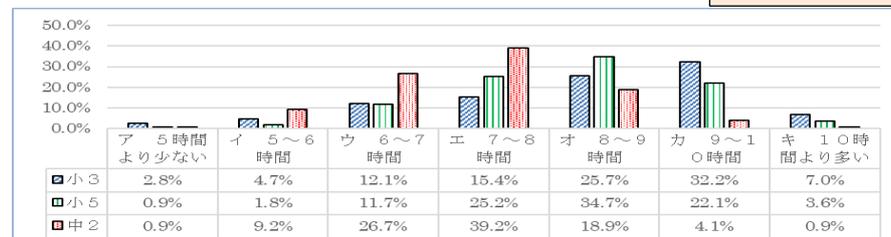


小学生の12時以降の就寝が増加、遅い時間の過ごし方等の把握が必要

○小学生は10時までは、小3で77.1%, 小5で72.1%が就寝し、中学生は10時から12時が77.4%と多い。

○12時以降は小3で1.9%, 小5で1.4%, 中3で12.9%である。何時頃就寝しているのか、また、どのような理由で起きているのかについて状況把握が必要である。

問2 平日、睡眠時間はどれくらいですか。



小学生、睡眠時間8時間未満が増加

○小学生は睡眠時間が長い割合が増える一方で、8時間未満は小3では35%で約6%増加、小5では39.6%で約7%増加している。

○中学生は、5時間未満が若干減少し0.9%になるなど睡眠時間は増加傾向にある。

問3 平日、朝食を食べて学校に行きますか。



朝食を食べない子が微増

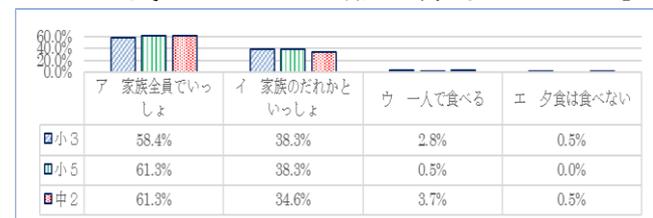
○「朝食を食べて学校に行く」割合は高いが、小3の「朝食を毎日食べる」が9割を下回り、「ときどき食べる」「食べない」が増加している。また、中2の「食べない」が増加し4.1%となっている。

○どのような状況なのか把握する必要がある。

問4 平日、あなたは夕食を家族の人と食べていますか。

家族一緒に食事をとる家庭が増加

○「いつも家族の誰かと一緒に食事をとっている」が多い。また、「家族全員でいっしょ」においては、

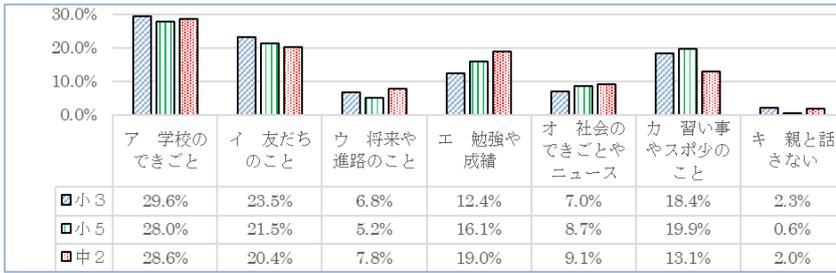


小3で約17%, 中2で約14%増加し、家族でいっしょに食事をとる機会が増加している。

○「一人で食べる」「夕食を食べない」が、若干いる。どのような状況なのか把握する必要がある。

問5 あなたは、親とどんなことについて話をしますか。

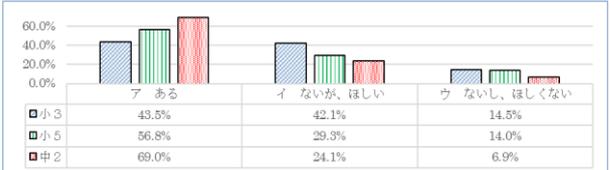
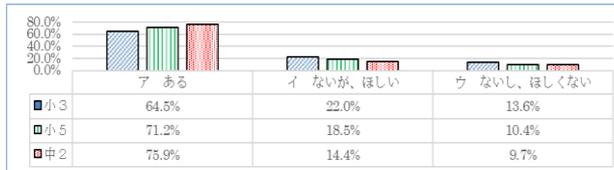
親と話をする子どもたちが増加



○話す内容は、小学校では、「学校のこと」「友だちのこと」「習い事等のこと」の順になっているが、中2では3番目に「勉強や成績のこと」が入っていて、小5、中2と学年が進むにしたがって増加している。

問6 自分が使うことができる「インターネットにつながるパソコンやタブレット」はありますか。

問7 自分の使うことができる「携帯電話やスマートフォン」はありますか。

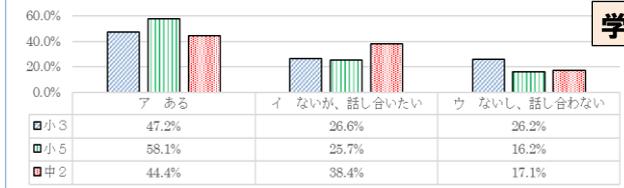


スマートフォン等情報機器保有の増加。学校や家庭による「情報モラル」の指導・学習が必要

- 「自分が使うことができるインターネットにつながるパソコンやタブレットがある」のは、中2では4人中3人、「自分が使えるスマートフォンや携帯電話がある」のは、小3で43.5%、小5で56.8%、中2で69%である。H26年の調査と比較して保有率は大幅に増加している。
- 「情報モラル」について低学年から発達段階を考慮しつつ、家庭と連携しながら指導・学習していく必要性を感じる。また、使用方法や内容を把握する必要がある。

問8 あなたは、家族で大きな自然災害が起きたときのことを話し合ったことがありますか。

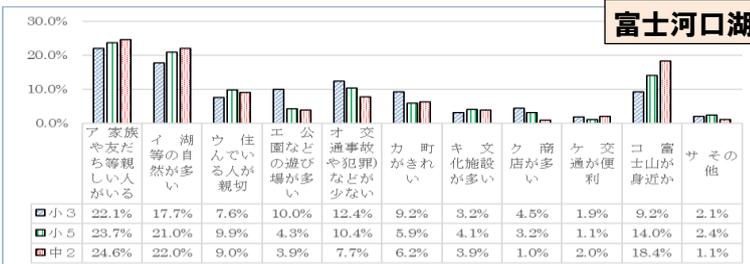
学校・家庭で防災に関する話をさらに進めましょう



○本地区は、大規模地震として、南海トラフ巨大地震（東海地震）などがあり、富士山の噴火の危険性も考えられる。調査では「話をしたことがある」は約半数であり、「話し合ってみよう」と考えている子どもたちも多いので、学校の学習においては防災教育を行っているが、家庭を巻き込んだ防災教育を含めて、さらに進めていく必要がある。

問9 あなたが住んでいる町や地域で好きな所はどのようなところですか

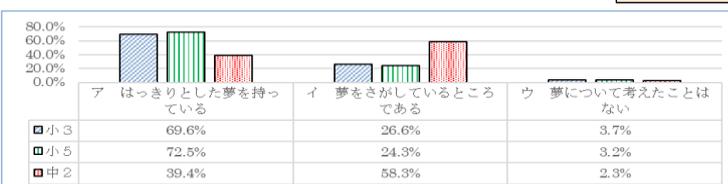
富士河口湖町は、親しい人がいて自然が豊富な町



○どの学年も「家族・友人等親しい人がいる」が一番多い。2番目は、「湖等の自然が多い」、3番目は小3では「交通事故や犯罪等が少ない」であるが、小5、中2では「富士山が身近にある」である。

問10 将来の夢を持っていますか

「夢がある」小学生は約7割、中学生は約4割



○「夢がある」が小学生において約7割と増加し、「考えたことがない」が減少した。○中2において「夢がある」割合が約4割と低いのは、将来をより現実的なものとして捉えるようになったためではないかと考えられる。それも大切なステップと思える。

就寝時刻、睡眠時間、情報機器の保有等で低年齢化が進んでいます。また、「良いと捉えられるもの」と「悪いと捉えられるもの」の両方が増加し、二極化していく傾向が若干見られます。アンケートの結果をもとに、学校と家庭が連携し、良い方向に変わっていくようにしていきましょう。